
バカとテストと恋物語？

つりしん3

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとテストと恋物語？

【Nコード】

N6293Z

【作者名】

つりしん3

【あらすじ】

ある日、転校してきた二人の男と女、男の名は工藤修也。本来ならAクラス入り確実だったがめんどくさいと言ってテストを受けなかったため、Fクラスになった。

こいつらが織り成す恋の行方はいかに！？

オリキャラ設定

工藤 修也くわい しゅうや

容姿

顔はまあまあイケメン。髪は茶色がかった黒で、目は黒

性格

普段はテンション低め、アホっぽい

年齢

明久たちと同じ

クラス

Fクラス

身長

168cm

体重

50kg前後

得意教科

古典以外

苦手教科

古典

召喚獣

執事服の衣装で髪と目は本人と一緒に、武器は日本刀

備考

父が外人で母が日本人のハーフ、そのため髪が微妙な色、本人いわくコンプレックス。文月学園に転校してきた。その理由は単に面白そうだからという単純な理由。Fクラスになったのは、面倒だとい

ってテストをほっぽりだしたため。成績はAクラス並。姫路のことが好き。本作品の主人公。

桐谷 汐きりたに しおり

容姿

一言で言うと美少女。髪と目は茶色、

性格

普段からテンション高め、アホ毛がある、

年齢

明久たちと同じ

クラス

Fクラス

身長

150?

体重

40kg

得意教科

理数系

苦手教科

それ以外

召喚獣

メイド服の衣装で髪と目は本人と一緒に、武器は大型のピストル

備考

明久とは、いとこの関係である。修也とは幼馴染。髪がきれいな茶髪なため、中途半端な髪をいじめている。文月学園に転校してきた。その理由はいじる対象がいなくなりたくなかったため、修也を追い転校してきた。Fクラスになったのは面白そうだからとい

う理由で名前を書かなかったため。成績はAクラス並。

第1問（前書き）

さっそくはじまりました。第1話、こんな小説を読んでいたばかりがとつとつございます。

第1問

西村先生「えー、突然だがここでこのクラスに新しい仲間が増える。

」

鉄じ・・・じゃなかった西村先生が衝撃的なことを言った。

FFF団「こんな微妙なときにか？」

「女だといいな」

明久「どんなひとなんですか？」

西村先生「九州から来たらしい」

九州か・・・たしかあいつがいたのも九州だったはず・・・

FFF団「男ですか？女ですか？」

西村先生「両方だ」

FFF団「両方？おかまか？」

明久「ねえ、雄二。両方っておかまのこと？」

雄二「んなわけねえだろ。男一人と女一人以上ってことだ」

明久「さすが雄二、元神童なだけはあるね」

雄二「それくらい理解しろよ・・・」

雄二とそんな話をしていると転校生が入ってきた。

えっ、あれって・・・

汐「こんにちは九州から来ました。桐谷汐です。」

FFF団「美少女～～」

汐「ってあれ？アキくん？」

汐が僕の方を向く。ついでにFFF団のみんなも僕の方を向く。

雄二「明久、お前の知り合いか？」

明久「雄二、知り合いも何も僕と汐はいとこだもん。」

ヒュン

今僕の顔の横をカッターが通り過ぎたような……

FFF団「ちつ……はずしたか……」

雄二「いとこ？お前と桐谷がか？全く似てねえな……」

美波「そうよ、アキ。桐谷さんは美少女だけどアキはねえ……」

ひどいよ、美波……

汐「アキ君、久しぶり〜」

汐が僕に抱きついてきた。

ヒュンヒュンヒュンヒュンヒュンヒュンヒュン

すると、たくさんの刃物が飛んできた。

明久「畳替えし！！」

はあく危ない。

西村先生「あーお前らもう一人いるんだが……」

あ、忘れてた……

西村先生「では、工藤、自己紹介してくれ」
修也「えー汐と同じ学校からやってきました。工藤修也です。前の学校では汐と付き合っていました。」

付き合ってただってそれは・・・

死刑宣告だ・・・

どうせ僕も追われるんだ・・・

工藤さんに教えてあげなきゃ・・・

明久「工藤君・・・」

修也「ん？」

明久「今、付き合ってたっていったよね・・・」

修也「ああ」

明久「それは・・・」

修也「それは？」

明久「死を受け入れてるようなもんだ!!」

修也「えっ!？」

FFF団「Let's party!!!」

僕たちのほうに刃物が飛んでくる。

まずい、これは逃げなきゃ・・・

明久「逃げるよ。工藤君。」

修也「あ?うん、分かった。」

秀吉「また始まったのう」

雄二「ああ、そうだな」

そんな秀吉たちの声を聞いたところで僕たちは屋上に逃げた。
あぶないよ・・・

明久side out

修也 side in

明久「大丈夫？工藤君？」

修也「ああ大丈夫だ。さっきはありがとな。」

明久「さっき？」

修也「死の宣告を教えてください」

明久「あああれねいつものことだから・・・」

いつものことなのか・・・

そんなこんなでこの日は終わった・・・

第1問（後書き）

どうでしたか？第一話、はじめてなのでダメだしなどがあつたら入
ってください。

次はみんなの自己紹介です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6293z/>

バカとテストと恋物語？

2011年12月22日00時45分発行